



福岡県小郡市大板井1143-1  
電話番号 0942-72-7221  
FAX 0942-72-7222



発行人

こぐま福祉会  
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



**運動会を開催しました!**

10月13日(日)に、大原小学校にて「ゆう・はぐ・しろくま」の運動会が行われました。今回は、全7グループの子どもたちと保護者の方々を含め、総勢250名の参加となりました。

当日は晴天にも恵まれ、キラキラ太陽と子ども達の笑顔がまぶしい1日となりました。

年長児さんによるオープニングセレモニーから始まり、全7グループ、日々の療育で行っている、ダンスやかけっこ、運動あそびを行いました。競技の中で子ども達が見せる表情は、緊張している中にも、大好きな保護者の方と一緒にいる事での安心感や、楽しさでいっぱいでした。年長児さんにとっては、最後の運動会。保護者の方から離れ、お友達やスタッフと頑張る姿はとても逞しかったです。

また、頑張る子ども達を見つめるご家族の眼差しは、とても暖かいものでした。

閉会式では、子ども達一人ひとりに金メダルの贈呈。これは、運動会だけのものではありません。日々の療育を積み重ね、その中で一歩ずつ成長している子ども達と、保護者の方に贈る金メダルでもあります。今年も子ども達一人ひとりが主役となり、キラキラと輝いた運動会になったと思います。

最後になりましたが、お忙しい中、沢山のご家族の皆様のご参加、ご声援本当にありがとうございました。

(児童指導員 牟田)



心の窓



こぐま子どもの家  
えいた  
英大くん

8月で2歳になった英大は、子どもの家を利用し始めて1年半になります。きっかけは、長女が週4回のグループ療育に参加する為でした。

長女は、新しい環境・母子分離が苦手で、親子同伴であったものの、果たして週4回通えるのか？その上、どこにも預けたことのない英大を預けることなど出来るのか？と、不安ばかりのスタートでした。

子どもの家を利用し始めた頃の英大は、預ける時には毎回私にしがみつき、離れることを嫌がって大号泣でした。その姿を見る度に、しなくともいい我慢をさせているのではないかと申し訳ない気持ちで一杯になっていました。初日のお迎えの時には、泣いていないかな？とドキドキしたことを思い出します。

それでも慣れてくると、自ら大好きな先生に抱っこと手を広げ抱っこしてもらったり、お迎えに行っても「まだ遊ぶんだ〜」となかなか帰ろうとしない日もあったりで、嬉しい成長を見せてくれました。離乳食が思うように進まず悩んだ時期もありましたが、なぜか給食はよく食べて

いると先生から伺い、給食が食べられていたならいいかと、変に安心したことを覚えていています。

今2歳になった英大は、絶賛イヤイヤ期中です。自己主張も強くなり、気分が乗らない時に預けると、ギャンーと泣いてしまうこともありすが、先生方のお陰で安心して過ごせているようです。

最近はお喋りも少し上手になり、子どもの家で歌う歌や絵本を見つけると「しえんしえい(先生)」と言って教えてくれます。朝のお歌も長女と仲良く歌っています。その姿を見ていると、英大にとつて子どもの家がいい刺激をあたえてくれる場所になっているんだなあと、感じる事ができました。今回、このような機会をいただき、英大の成長を振り返る時間を作れたことに感謝しています。

長女は来年小学生です。その為、英大の託児も終わります。先生方には、まだ歩けない頃からお世話になり、成長を見守っていただいています。親としても大変心強いです。残りの期間、親子共々よろしくお願ひします。(英大の母)



こぐまLINE



かわうち  
保育士 川内

皆様、こんにちは。私は、こども支援部子どもの家で保育士をしています。なかなか皆様とお会いしたり接したりする機会が無い部署ですので、ここで少し私の自己紹介をさせて頂きたいと思います。

私は、家具の街・大川市で生まれ、幼少期を過ごしました。大川市の中でもとても田舎で何も無い小さな町で、近くには乳牛場・養鶏場・ヤギ小屋・養豚場。そして自宅の屋根裏にはイタチがすみついていてこのようなところでした。なので、保育園のころのお散歩コースは、その動物見学が中心です。毎日、泥んこになって遊びました。その頃担任だった先生が、とても美人でおまけにハスキーボイス。そして、いつも楽しく遊んでくれた記憶があります。いつもみんなの憧れの的だった素敵な先生でした。きっと私が今、保育士をしているのも、もしかしたら、その先生が原点だったのかな？

その後、父親の仕事の関係で、今の筑紫野市に移り住みました。短大卒業後は、博多の結婚式場でアルバイトをしていた延長で、そのまま就職し、ブライダルの仕事をしました。婚礼受付から披露宴全体ま

での仕事です。毎週たくさんの方のお手伝いをさせて頂きました。

接客業という事もあり、接客マナーや礼法マナーなど、沢山の先輩方に厳しく教えて頂きましたが、その頃は若さもあり、なかなか素直になれない事も……。けど、今思えばとても身につけて、役に立っています。あの頃の先輩方に感謝ですね。

その後約3年を経て、「やっぱり保育士になりたい」という思いが強くなり、筑紫野市の公立保育所で臨時保育士として勤務しました。そこから私の保育士人生の始まりです。入職して2年目くらいの頃に「こぐま研修に行きませんか？」と声を掛けていただき、いざこぐま学園へ！

今と変わらないS I ルームで保育見学。大豆を使った感触遊びを今でも鮮明に覚えています。あれから、20数年が経ち、今、こうしてこぐま学園に勤務しているとは想像もしていませんでした。

こうして、縁あって入職させていただいた事に感謝し、今まで学んできた事・経験させていただいた事を、この子どもの家でたくさん活用し、子ども達が日々楽しく過ごせるように頑張りたいと思います。

子どもの家をご利用の際は、どうぞよろしくお願ひします。そして、そぞろでない方も、私を見掛けたらお気軽に声を掛けてください。今後とも、よろしくお願ひします。



はぐ・ゆう・へま

8月30日(金)〜31日(土)で「児童発達支援センターはぐ・児童発達支援事業しろくま」のお泊まり保育を行いました。参加者はひまわりグループの年長児5名。いつものお部屋でいつものスタッフと一緒にですが、なんだか違う雰囲気になっぴりドキドキ顔でスタートしました。アリーナ棟であそび、みんなの大好きなポテトサラダを作り、お風呂に入りと色々な経験の中で笑顔や真剣な顔、リラククスした顔などありました。夜もあつという間にぐっすりと夢の中で、かわいい寝顔も見せてくれました。そして何より、お迎えに来てくれたお母さんと会えた時が一番いい顔をしていた様に思います。『頑張ったね!』お母さんやスタッフに誉めてもらい、得意気な顔もありました。表情でいろいろな気持ちを伝えてくれた2日間。この経験が子ども達にとって自信に繋がるよう願っています。

(保育士 北村)

ゆう

9月7日(土)〜8日(日)「児童発達支援センターゆう」のお泊り保育を実施しました。かぶとむしグループの年長児8名が元気に参加してくれました。ドキドキがいっぱいだった子ども達も、いつもと違った活動に目を輝かせ、笑顔がいっぱい!初めてのお泊りも、お友だちや先生と笑顔で乗り越える子ども達の姿は、とても立派で逞しく、大きな成長を感じずにはいられませんでした。

お泊り保育の間、終始笑顔で過ごした子ども達も、お家の方との対面は何よりも安心で、涙や笑顔がいっぱい溢れていました。子ども達の『底力!』すごいです!

(保育士 松本)



みんなで集まってパシャリ☆

こぐまゆうえんち楽しかったよ!

暗間で影絵を見たよ!

おいしくなあれおいしくなあれ

鐘を鳴らしてお参りしたよ!

ポップコーンお外で作ったよ!

みんなでお泊り!

**ゆう保護者より**

お泊り保育ありがとうございました。色々な配慮をしてもらい、美織にとっても私達夫婦にとっても、貴重な体験・経験ができたと感じの気持ちでいっぱいです。当日、車の中では「こぐまに行く」とお友だちの名前を元氣いっぱい言っていました。着いた早々、いつもと違う雰囲気になんか不安気・・・なんだろう?と戸惑いが隠せない状態でしたが、先生に手をつながれて、バイバイ!と行って、スムーズに離れる事ができ、すごいな!と実感。以前の美織は私にしがみつき、抱っこと泣いていたのに・・・。今ではこぐまの先生達を心から信頼し、こぐま学園が美織にとって安心できる場所になったんだなとシミジミ感じました。定期的な注入があるため、実家にも1人でお泊りしたことがなかったので、1人で寝れるのか、夜泣きしないかと不安でいっぱいでしたが、お部屋で迎えを待っている時、子ども達の元氣な声を聞き、楽しかったんだなと親元を離れて、みんなと一緒にの1泊2日でぐーんと成長したんだな!と胸いっぱいになり、再会した時の我慢していた顔を見て、親が思っている以上に強く、たくましく成長しててビックリです。素敵な経験をさせていただき、ありがとうございました。



活動紹介

「就労継続支援B型事業所 Smile Work」では、生産活動やその他の活動の機会を提供し、知識及び生活・就労能力の向上の為に必要な支援を行っています。

現在6名の利用者様と共に月曜日・金曜日までクッキー生地作り・型抜き・焼き・袋詰め・販売までの作業を行っています。小郡マルシェ等、年間6回程度のイベントでの出店や、こぐま福祉会のロビーでも販売しています。

その他に月・水・金曜日は、こぐま福祉会の訓練等で使用した洗濯物の分別・収納までの業務も行っていきます。また、利用者様の健康な体作りの為、栄養の学習会等も行っています。

様々な体験や活動を通して働く喜びや充実感、社会人としてのマナーやコミュニケーションの大切さを学んで頂き、今後の社会生活に繋げて頂きたいと思えます。開所から3年目を迎えスタッフ一同頑張つて参ります。今後とも宜しくお願い致します。

(職業指導員 林田)



べあクラブ社会体験

秋晴れの心地よい天候の中、10月11日(金)に生活介護事業べあクラブの社会体験で、秋を探しに外出しました。かえる寺・九州歴史資料館に行き、昼食とショッピングをイオン小郡で楽しみました。

かえる寺散策では、紅葉にはまだ少し早かったようですが、色変わり始めた木々と青い空の色のコントラストがとても綺麗でした。

九州歴史資料館では、この時期は久留米の歴史と文化の資料が展示されていて、昔の久留米餅や籃胎漆器、久留米ガラスの品々がありました。現在も変わらぬ伝統のすばらしさを感じることが出来ました。

小郡イオンでは、お弁当をみんなで行いながら食べた後、短時間ではありましたが、買い物を楽しみました。スタッフも含めて、一足早く秋を楽しみました。

(おとな支援部 春野)



こぐま学園もちつき大会のご案内

今年も例年通りもちつき大会を開催します！

【日程】12月15日(日)

【時間】10時～13時

【場所】こぐま学園 園庭

【参加費】無料

※雨天決行

皆さまと一緒に日本の伝統行事を体験し、自分たちでついたお餅でお雑煮やぜんざいを味わいましょう。

また消防自動車乗車体験も行います。ご家族お揃いでぜひご参加下さい。(もちつき係 藤山)

尾久保研修所もちつき会のご案内

今年も尾久保研修所「みんなの館」にて、恒例の『もちつき会』を行います。今年も、皆さまにもちつきやもち丸めをしっかりと体験していただきたいと思ひ、もちつき会のみ行います。今年一年お世話になった皆さまとともに、つきたての美味しいお餅や、お餅の入ったお雑煮やぜんざいをしっかりと食べていただきたく思います。

【日程】12月22日(日)  
【時間】10時～13時30分  
【参加費】500円(中学生以上) 300円(小学生)

お問い合わせ先：0943(54)3900 (みんなの館 板橋)



行事予定

11月 24日(日) 発達支援セミナー 実践コース(遊び)

29日(金) 職員研修のため休園  
30日(土) Smile Work キラリ☆マルシェ

12月 1日(日) 第12回発達支援セミナー

9日(月) 避難訓練  
10日(火) おとな支援部 成人式

15日(日) こぐま餅つき大会  
16日(月) こぐま餅つき大会振替休園

20日(金) こども支援部 クリスマス会

22日(日) 発達支援セミナー 実践コース(摂食)

28日(土) 大掃除のため休園  
Work Stepのみ開所

29日(日) 12月31日(火) 年末休暇

1月 1日(水) 4日(土) 年始休暇

6日(月) 療育開始 鏡開き  
23日(木) 避難訓練

交流保育

11月 18日(月) 久留米天使こども園

12月 26日(火) あじさか保育園

10日(火) あじさか保育園  
13日(金) 三国保育所

1月 21日(火) あじさか保育園

入職者紹介

- 桐川 貴美 (Life 臨床心理士)
福田 和美 (保育士)
遠座 紀恵 (受付事務)
西村 康子 (看護師)

退職者紹介

- 松浦 あかね (保育士)
坂田 大典 (尾久保研修所運転手)